

## 松川浦漁港の復旧について



松川浦漁港原釜地区 漁港災害復旧工事  
(相馬市尾浜地内)

### <被災状況>

## 1. 概要

松川浦漁港は相馬市の東部に位置し、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震により壊滅的な被害を受けた。

本岸壁では直立消波ブロックの飛散や、地震による沈下等の被災があり、早期の復旧が望まれている。

本岸壁は、県内の水産流通上、重要な岸壁であるため、復旧に合わせた耐震化対策を施すこととした。



## 2. 経緯・課題

本岸壁については、仮復旧した一部岸壁を用いて試験操業を行っていること、松川浦漁港内の工事のための資材搬出岸壁としても使用していることなど、供用するスペースを確保しながらの工事となった。

特に試験操業については、一部復旧した岸壁に試験操業水揚げ場所を移動する必要があり、漁業者との調整を密に行った。

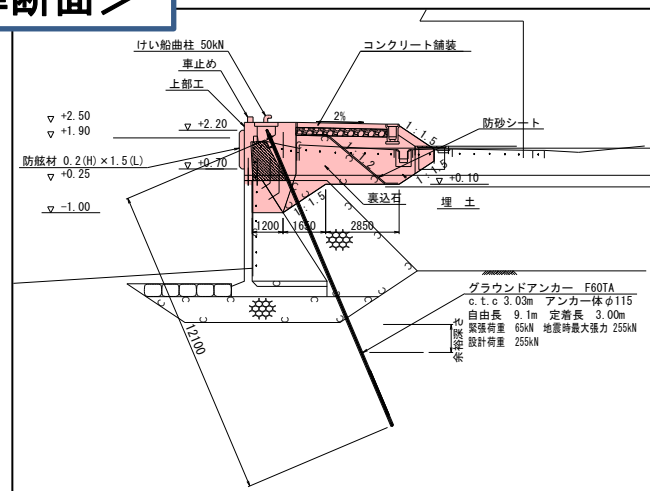
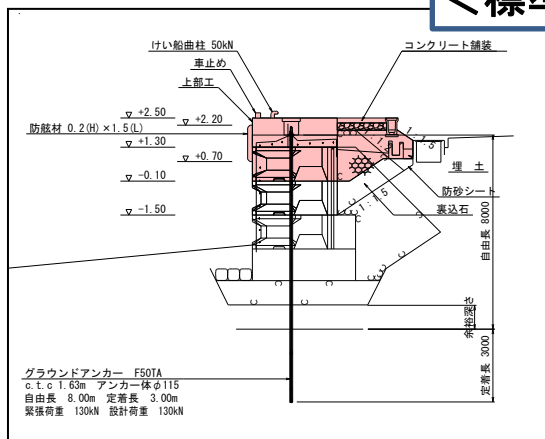
### <試験操業>



### 3. 内容

事業費	: 災害費	C=2億円
	改良費	C=1.3億円
岸壁復旧工		L=356.9m
直立消波ブロック		N=53個
アンカー工		N=162本
上部工		L=356.9m
付属工		N=1式

### <標準断面>



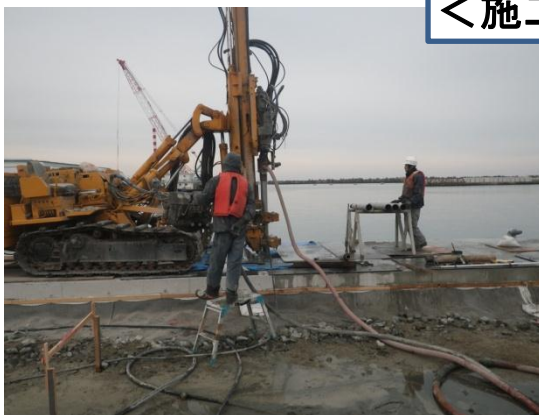
### 4. 進捗状況・創意工夫

耐震化にあたり、既存施設をできるだけ有効利用する工法がとられた。このため、アンカー工により、地震時の抵抗力を確保することとなった。

また、荷揚げ岸壁を確保するため、使用していない船揚場を仮岸壁として造成し、工程の短縮を図った。

現在L=181.2mについて概成しており、残工区について鋭意施工中である。平成26年3月完成を目標に施工中。

### <施工状況>



### <現況>



### 5. おわりに

松川浦漁港では試験操業により31種の水産物が水揚げしている状況である。今後、災害復旧事業が概成したのちには本格操業が始まる事が期待される。今後とも、県産物の消費についてご協力願いたい。